

情報公開文書

研究課題名	当院での再発・難治末梢性 T 細胞リンパ腫に対する造血幹細胞移植の後方視的解析
研究体制	<input checked="" type="checkbox"/> 長野赤十字病院が責任研究機関となる <input type="checkbox"/> 他施設が責任研究機関となる共同研究 (責任研究機関:)
研究責任者	責任研究機関 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>小林 光</u> 当 院 所 属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>小林 光</u>
研究期間	(西暦) 2018 年 1 月 ~ 2018 年 3 月
研究の概要	(研究の意義・目的) 末梢性 T 細胞リンパ腫は標準治療が確立されておらず、再発・難治性の末梢性リンパ腫は予後不良であり、自家及び同種造血幹細胞移植が考慮されますが、その優劣は明らかではありません。そこで当院における末梢性 T 細胞リンパ腫に対する造血幹細胞移植の治療成績を解析いたします。 (研究方法) 1999 年 8 月から 2017 年 6 月に当院で施行した、再発または初回治療で完全寛解が得られなかった末梢性 T 細胞リンパ腫 (成人 T 細胞白血病 (ATL) 及び NK 細胞腫瘍は除外) に対して、自家または同種造血幹細胞移植を実施した 23 例について後方視的に解析いたします。
試料・情報	(試料・情報の項目) 移植時年齢、性別、病型、病期、合併症、検査所見、治療内容、治療により生じた有害事象、治療経過
研究対象者	1999 年 8 月から 2017 年 6 月に当院で施行した、再発または初回治療で完全寛解が得られなかった末梢性 T 細胞リンパ腫 (ATL 及び NK 細胞腫瘍は除外) の患者さん。(症例数 23 例) ※当研究に自分の情報を使用してほしくない場合は下記のお問い合わせ先までお申し出ください。
個人情報の保護	収集したデータは、誰のデータか分からなくした (匿名化といいます) 上で使用いたします。国が定めた倫理指針 (「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」) に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定できない形で行います。
お問い合わせ先	〒380-8582 長野県長野市若里五丁目22番1号 長野赤十字病院 所属 <u>血液内科</u> 氏名 <u>貝梅 絃子</u> TEL : 026-226-4131 (代表) FAX : 026-228-8439